

日経産業新聞

2013年(平成25年)
10月22日
火曜日

NIKKEI BUSINESS DAILY

だわると市場の成長スピードについて行けない。今後も製品力や技術力が高い企業を買収していく。(6月に買収した)マイカーポットは製品力を評価した例といえる」

時間短縮などに寄与す

3Dプリンターは、製造業以外に、医療などで活用されています。「例えば外科手術用の治具がある。治療成果を高めるというより、手術時間の短縮などに寄与する。」

2面に続く

テレビ用液晶パネル(32型)	↓	↓	□	中国市場を中心に需要が伸び悩み。相場は軟調で赤字圏まで落ち込む
自動車 NOR型フラッシュメモリー	↓	↓	△	従来型携帯電話のほか、デジカメなど家電向けの需要も振るわない。自動車向けは回復傾向も補えず
情報機器・家電など バックライト用白色発光ダイオード(LED)	→	→	△	一部照明用などは需要拡大も、供給過剰感は継続
ITOターゲット材	↑	↑	△	投資目的の買いを背景に原料のインジウムの価格が上昇。価格に転嫁するが、テレビなどの生産調整で需要は伸び悩み
シリコンウエハー	→	↓	△	スマホ市場の低価格品シフトなどで半導体メーカーからの引き合いが当初予想を下回る

(注)価格の □は上昇、△は小幅上昇、→は横ばい、↓は小幅下落、▽は下落
収益性の ●は黒字、○は小幅黒字、△はトントン、□は小幅赤字

伸びている。韓国サムスン電子や東芝など大手もフル生産を続けているも、相場が大きく下振れする可能性は低そう

世界的な出荷の落ち込みが続くパソコン向け部

付いているパソコン用DRAMも引き続き強含む。メモリー各社はモバイル向けDRAMやNA NDへの生産シフトを進めているうえ、韓国大手SKハイニックスの工場

国の取引市場に投資資金が流入し、原料のインジウムは、原料の値上りがりを製品に転嫁している。

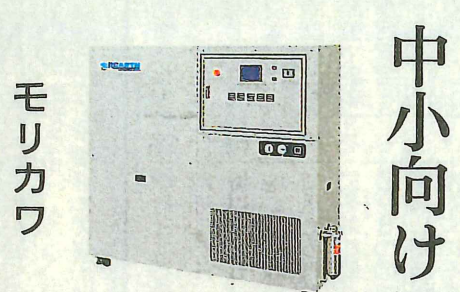
ただ世界的なテレビの

1カーの需要自体は伸び悩んでいる。日本や韓国などターゲット材メーカーの間で価格競争が激しくなっており、上昇幅は小幅にとどまる見通し

休みました。

回収機器の利用を促す。工場など固定排出源による国内のVOC排出量(自動車を除く)は10年度で約80万ト。00年度と比べると半減した。ただ、業種別では自動車部品や建設工事、化学工業、印刷など中小企業の多い業種が排出の上位を占めており、対策が求められていた。

VOC回収装置



部品の洗浄時などに発生するVOCを再利用できる(モリカワの回収装置)

モリカワ(東京・豊島、森川潔社長)は、中小企業向けに機器の洗浄時に排出するVOC(揮発性有機化合物)を回収する装置のレンタルサービスを開始する。回収したVOCは装置内で液化して洗

モリカワは10年から大企業向けにVOC回収装置のレンタルサービスを提供してきた。12年12月の同社売上高は約10億円。

モリカワ(東京・豊島、森川潔社長)は、中小企業向けに機器の洗浄時に排出するVOC(揮発性有機化合物)を回収する装置のレンタルサービスを開始する。回収したVOCは装置内で液化して洗

モリカワは10年から大企業向けにVOC回収装置のレンタルサービスを提供してきた。12年12月の同社売上高は約10億円。

モリカワは10年から大企業向けにVOC回収装置のレンタルサービスを提供してきた。12年12月の同社売上高は約10億円。

が最終段階に

標準に下げるためコスト削減する。電池車を巡っては今年に、日米欧の自動車大手に術提携が相次いでいる。も巨額の開発費負担をで市場に投入することで次コカーの覇権を握る狙い。(13面に続く)

日経産業新聞onlineに全文掲載

日経電子版 <http://www.nikkei.com/>
お問い合わせ(7:00~21:00) ☎ 0120-24-2146

日経産業新聞online <http://www.nikkei.com/tech/ssbiz/>
購読のお申し込み ☎ 0120-21-4946
<http://www.nikkei4946.com>

エネルギー効率は、もっと上げられる。

環境をつくる

デバイス産業や自動車製造プラントなど、今、さまざまな製造環境で一層のエネルギー効率の改善やCO2削減が喫緊の課題になって